

3. 活動内容

(1) つつじふれ愛の日

つつじが丘小学校では、毎年校区の防災訓練に合わせて学校でも防災体験や引き取り訓練を行ってきました。今年は、「つつじふれ愛の日」として、校区と保護者と児童が一体となり、1日防災について考えたり、体験をしたりすることで災害時の備えに対する意識を高める取り組みを行いました。

校区の方は地域ごとに集まり、避難場所である学校の体育館に移動し防災訓練や炊き出し訓練を行いました。校内では各クラスで防災ビデオを見て感想を交流した後、1・2年生は煙体験や防災ダックで命を守る体の動きなど、3年生は消火体験やゴミ袋を使った防災グッズ(カッパ)作りなど、4年生は起震車体験や新聞紙を使った防災グッズ(座布団やスリッパ)作りなど、5・6年生はAEDの使い方やHUG(避難所開設ゲーム)を学び、全校児童が学年ごとに防災について学びました。子どもたちは普段できない体験をすることで、自分の命の守り方や他人の命の助け方を学び、防災についての意識を高めることができました。「つつじふれ愛の日」以外にも、総合的な学習の時間などを使い、校区の防災施設を調べたりして防災について学んだり考えたりする学習をしています。



(2) つつじウォークラリー

つつじが丘校区には多くの公園があります。子どもたちに安全・安心な遊びをという人々の願いで、公園を各地区につくったと聞いています。

10月に「つつじウォークラリー」という行事があります。全校児童が縦割り班ごとにこれらの公園を巡ります。6年生は班長として班の子たちを安全に注意しながら連れていくなど責任をもって行動する姿が見られます。5年生は、チェックポイントの公園でみんなを楽しませるためにゲームを企画運営します。そして4年生は、昼食時の公園で班員が仲良く過ごせるように遊びを考えます。この活動は、子どもたちが校区を知るよい機会になっています。

この日は、多くのPTAはじめ校区の方々ボランティアとして子どもたちの安全を見守ってくださいます。交差点や危険な場所に立ち、子どもたちに声をかけながらあたたかく見守ってくださっています。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）